

「ティーチン倉敷中央」が繋ぐ地域活性ネットワーク

倉敷中央高等学校 学びのネットワーク委員会

活動の目的

昨年は「ティーチン倉敷中央」(討論集会)によりまなびのネットワーク構築に取り組んだ。本年度は昨年までの活動を基盤に、水島港まつり運営委員会や倉敷市立短期大学と水島港まつりの企画・運営をすることにより、地域活性ネットワークを構築する。この活動を通して、様々な問題に多面的・多角的に考察し、他者と協働して解決する姿勢や論理的に相手を説得する力を育むこと。

活動の内容及び経過

ティーチン倉敷中央(地域の方々・大学生・留学生と討論会)

- 日時 7月20日(木)『安心安全な地域作り!』
参加者 高校生58名 岡大生9名 保護者3名 老人会7名
- 日時 8月25日(金)『倉敷のよさを韓国の人につたえよう!』
参加者 高校生64名 岡大生6名 留学生6名 市役所4名 地域の方々7名
- 日時 10月2日(月)『主権者教育<模擬投票>』(3年生)
参加者 3年生全員 弁護士8名
- 日時 12月19日(火)
『2020年東京オリンピック・パラリンピックと倉敷市』
参加者 高校生48名 岡大生16名 暮らし作陽大生10名 南中生33名
保護者9名 老人会5名

水島港まつり運営

- 参加者 高校生8名 倉敷市立短10名 倉敷市役所水島支所2名
- 6月10日(土) 水島港まつりキックオフ会議(マスコミに現時点での企画と状況を発表)
 - 7月29日、7月30日 水島港まつり(ボランティアとしても延べ80名参加)
 - アンブレラスカイ
倉敷中央高校と倉敷市短が企画し、倉敷芸術科学大学が、デザインを考案傘の色塗りを担当
 - 3校合同ファッションショー(本校50名 OBC50名 倉敷市短15名)
アンブレラスカイの下、3年生が華やかに30mのランウエーを彩る。2年生は、OBCでウォーキングの練習をし、既製服の着こなし方を提案
 - ダンスバトル(本校20名 他高校33名 倉敷市短11名 ダンススクール7名)
中央会場にて、真夏の灼熱の中、高校生・短大生が2分30秒でダンスの技を競う
 - ラジコン
ミニサーキットを会場に再現、水島の子ドリさんと一緒に企画運営
 - バトントワリング共演(本校50名 就実高校11名)
2校で祭りにあったバトントワリングを企画運営
 - ジグクス企画
企画・運営とキャラクターのデザインから制作まで本校生徒が行う

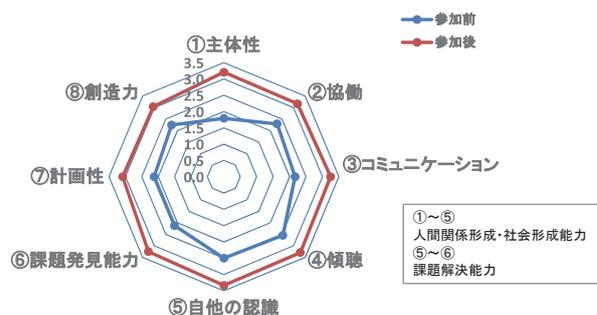
韓国観光客向けガイドペーパー作成

- 参加者 高校生18名 留学生6名 岡山県航空企画推進課
- プロジェクト結成式 11月1日(水) 取材交渉について
 - 取材 11月4日(土) 11日(土) 12月21日(木) 現地取材
 - 校内編集 11月14日(火) 18日(土) 取材内容を決まった形式に書き込む作業
 - プレゼン 12月22日(金) 印刷業者にデザインのプレゼンをする
 - 留学生と日本語→ハンガルの作業 2月9日(土)



活動の成果・効果

ティーチン倉敷中央(水島港まつり) 成果について



上記が、「水島港まつり」の企画や運営に参加した24名のDATAである。ルーブリック評価をグラフにしており、各項目1点～4点の得点をつけてある。ほとんどの項目大きく成長している様子が分かるが、主体性が特に身についたことが分かる。この項目は、申請の活動の背景に1番に書いた項目であり、最も本校として身につけさせたかったもので、リーダー育成に大きな成果を上げた。またこれらの活動を通して、HP上で7回発信し、本校の広報活動としても成果を上げた。

今後の課題と問題点

- 水島港まつり企画委員会や運営委員会では、地域のリーダーの前で発表したり、予算を考えながら催し物を企業と交渉した。まさに「百聞は一見に如かず」であり、いくら机上で話し合いが出来ても、実践の中では力不足を痛感した。来年度はこの経験を生かし、グローバルな視点から、地域活性の実践に多くの生徒を参加させ、グローバルな感覚を生徒に身につけさせたい。
- ボランティアや参加者を入れると200名を超える大きな取り組みであるが、運営・企画となると24名の取り組みとなる。本校の継続的な取り組みにするためには、多くの生徒の参加が必要になる。

- 代表者：河田いづる ●所在地：倉敷市西富井
- TEL：086-465-2559 ●E-MAIL：kurachuo@pref.okayama.jp
- URL：http://www.kurachuo.okayama-c.ed.jp/
- 設立年：2016年
- メンバー数：教員13名 水島港まつりプロジェクト8名
韓国人ガイドペーパープロジェクト18名
聞き書き1名 ティーチン倉敷中央(ファシリテーター) 42名